

巻・頭・言

就任のご挨拶

1、はじめに

本年度の北海道本部年次大会において、副本部長を拝命しました。2 年間の任期となりますが宜しくお願い致します。

地方委員会は現在 5 ブロックに分かれており、各地域の代表が持ち回りで副本部長を務めるルールとなっております。私は 10 年前にも副本部長を務めさせて頂きました。早いもので 10 年が過ぎたと改めて感じております。本来であれば早めに次世代の若手にバトンタッチすべきだったと反省しておりますが、タイミングを逸してしまい道南技術士委員会の代表を続けております。引き受けた以上技術士会の発展のために精一杯努めて行きますので宜しくお願い致します。

2、10 年の時の流れ

10 年前は私も 50 歳になったばかりでした。当時(2013 年)は能登本部長の時代で大変お世話になり、色々と経験させて頂きました。当時、技術士会の全国大会が札幌でした。副本部長になり立てで何も分からないまま、会場準備や来賓対応などに走り回った記憶があります。記念講演をされたノーベル化学賞を受賞した鈴木章教授との控室での雑談も大変興味深く、貴重な経験をさせて頂きました。当時は全道規模での団体の役員として活動するのは初めてでしたので、全てが初体験で、多分初々しく一生懸命に走り回っていたかと思います。

あれから 10 年が経ち、また副本部長の役が回って来ました。そして巡り遇わせでまた全国大会は来年北海道に回って来ます。時の流れの中で、公私共に色々な経験を積みましましたので、初々しさは雲散霧消し、見た目と共に図太くなったかと思います。

布村 重樹(ぬのむら しげき)

技術士(上下水道/建設/森林/総合技術監理部門)

公益社団法人 日本技術士会
北海道本部 副本部長
道南技術士委員会 代表
株式会社ノース技研



金本部長のもとに全国大会を成功させるべく、良い汗をかかせて頂きたいと思います。

3、地方委員会の現状

道南技術士委員会の現状として、若い技術士も増えて来ました。函館高専の澤村先生を中心に有資格者増強講座などを行った効果だと思えます。最近では次世代へのバトンタッチをするべく幹事会になるべく若手を入れて行事の企画運営を行っています。ただ、若手は実務の最前線で活躍している方々がほとんどで、私の様に自由な立場で無いので、技術士会の業務を担って行くのは大変だと思えます。これは道南だけでなく各地方も同様で後継者に苦労している様子です。しかし技術士会に関わることで、人脈が広がり、将来の役に立つと思うので、積極的に若手に経験をさせて、近い将来には若手中心の地方委員会にして行きたいと考えています。

4、おわりに

若手にバトンを渡した後の我々中高年技術士の活躍する場・居場所も作って行けたらと思う今日この頃です。技術的な知識や経験を業務だけでなく、衰退が著しい地方経済の活性化に役立てることが出来ないか？と考えています。特に北海道は食と観光が大きな成長の可能性を秘めています。インフラ整備の技術的な経験を観光や他に活かせないかと、函館湾岸価値創造プロジェクト(GRHABIP)を仲間と立上げ、土木遺産や歴史的建造物の価値を技術的な側面だけでなく、人間ドラマとして魅力を伝えられないかと試行錯誤しております。技術士の役割の多様性を実現し、地域貢献しながら、生涯現役として活動して行ける場を作りたいと願っています。